

# 理念 「ノーマライゼーション社会の実現！」

年齢や障害の有無に関係なく、誰もが住み慣れた地域、大津、滋賀で大切な人として尊重され続け、“自分の暮らしは自分で決めていける”よう、権利擁護支援にひたすら邁進します。

## あさがおスピリッツ

あさがおの職員一人ひとりが大切にすること(道しるべ)

あさがおは

### 1. いかなる権利侵害も許さず、\*ご本人の権利を擁護します。

(\*ご本人=支援を必要としている当事者を指す。)

- ・高齢者・障害者を中心とした権利侵害に対して毅然とした態度で声をあげ、ご本人の権利を守ります。
- ・権利擁護の正しい知識を持ち、差別や虐待、権利侵害をしません。
- ・権利侵害の防止について市民や関係者、専門職等に対して普及・啓発活動を積極的に行い、権利擁護意識の醸成を図ります。
- ・権利侵害を防止する環境を整え、大津・滋賀の仕組みづくりに向けて活動します。

### 2. ご本人が大切に思っているものを大切にできるよう支援します。

- ・ご本人に会い、ご本人の思いに寄り添い、他の支援者とともに支えます。
- ・ご本人の自己決定が尊重されるよう、自己決定に至る過程を大切に共に歩みます。
- ・ご本人以外から相談を受けた場合、それぞれの思いに寄り添いつつも、ご本人の利益を優先に考えて行動します。

### 3. 高い倫理観と厳格な姿勢で行動します。

- ・法人内でのチェック機能が有効に働く体制をとり、行動します。
- ・財務・会計関係をはじめ、すべての記録を正確かつ公正に行い適正に業務を遂行します。
- ・職務上知り得た情報は、万全の注意を払って取り扱います。
- ・専門性を高めるために、向上心を持ち、自己研鑽に努めます。

### 4. 困った・助けてのサインを放置せず、支援します。

- ・気付いた人が責任者となり、放置せず支援します。
- ・ご本人が権利侵害を認識していない場合や、不利益な状況下にながらそれに気付くことができていない場合にも、本人の思いを確認しながら必要な支援を行います。
- ・権利侵害に気付く力を養います。
- ・あさがおで解決できない場合は、責任を持って必要な支援へつなぎます。

5. 「聴く（～14の心で耳を傾ける～）」ことを大切にします。

- ・一人ひとりがそれぞれの価値を持つ存在であることを認め、理解して支援します。
- ・自己の価値観や思いを持ち込まず、専門性に基づいた知識と技術を用いて丁寧に話を聴きます。
- ・相談したい、相談してよかったと思ってもらえるよう支援します。

【あさがお14の心】

- ① 受容する心 ② 共感する心 ③ 肯定する心 ④ 理解する心 ⑤ 尊重する心 ⑥ 先入観のない心  
⑦ 諦めない心 ⑧ 誠実な心 ⑨ 謙虚な心 ⑩ 公平な心 ⑪ 勇気ある心 ⑫ 発想力豊かな心  
⑬ 熱い心 ⑭ 冷静な心

6. 個別支援にとどまらず、地域や社会へも働きかけを行います。

- ・支援や活動を通じて、共通する問題や課題を発見し、可視化し、社会に問題提起を行っていきます。
- ・不足するモノ（仕組み、制度、ネットワーク、支援者等）は補い、必要なモノ、無いモノはつくる働きかけをします。

7. ネットワークとチームワークを大切にします。

（1）関係機関との連携

- ・支援チームの中での自分の役割を認識し業務を遂行します。
- ・支援者各々の専門性を正しく理解し、支援チーム内で連携・協同して取り組みます。
- ・ご本人と社会資源をつなぎ、支援の輪をつくります。
- ・ご本人にとって支援の輪がより強化されるよう働きかけます。

（2）職場内での連携

- ・職員それぞれの個性や価値観を尊重し、意思疎通が円滑に行われるような関係を築きます。
- ・一人で取組むのではなく、課題を共有・議論し、チームで立てた方針に基づき支援します。

\*あさがおの職員であることを自覚し、一人ひとりが責任を持って行動します。

実践現場で葛藤が生じた場合や、迷い立ち止まることがあった時には、あさがおスピリッツに照らし公平性・一貫性を持って対応するように努めます。